

関東夏ロボコン2025

競技フィールド/オブジェクト図面

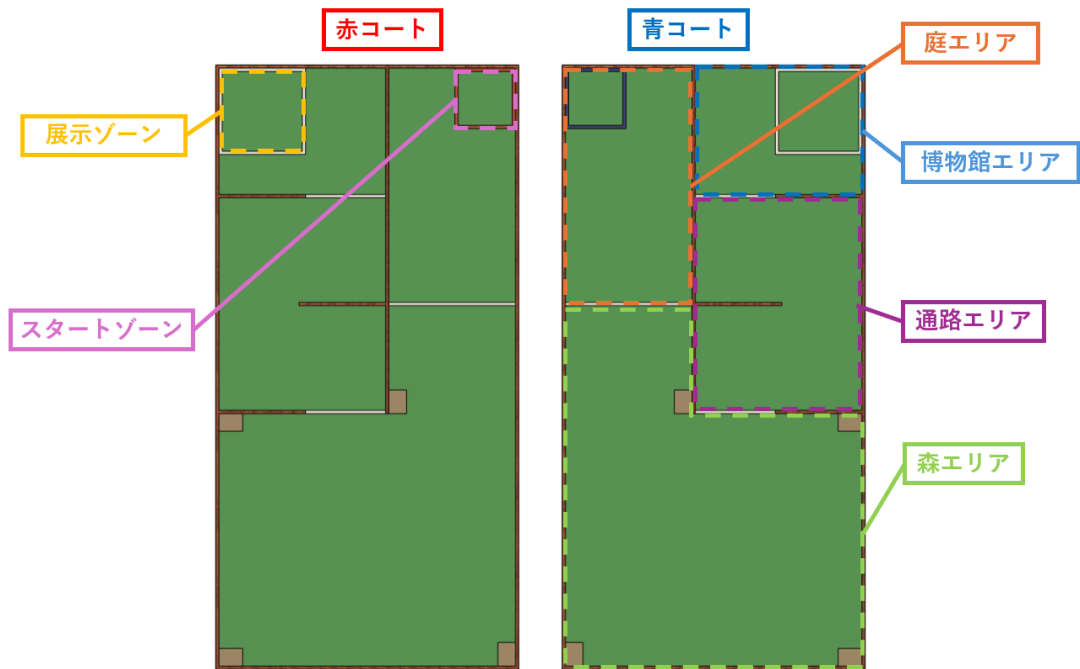
目次

1. フィールド図面
 - 1.1. フィールド全体図面
 - 1.1.1. ゾーン・エリア説明
 - 1.1.2. 等角投影図
 - 1.1.3. 平面図
2. オブジェクト図
 - 2.1. 「虫」
 - 2.1.1. 「カブトムシ」
 - 2.1.2. 「クワガタ」
 - 2.1.3. 「カナブン」
 - 2.2. 「幹」
3. オブジェクトの接着
 - 3.1. 「カブトムシ」「クワガタ」

大会公式ホームページ: <https://kantouharurobo.com/natu/>

2025 年 5 月 22 日
2025 年 7 月 27 日

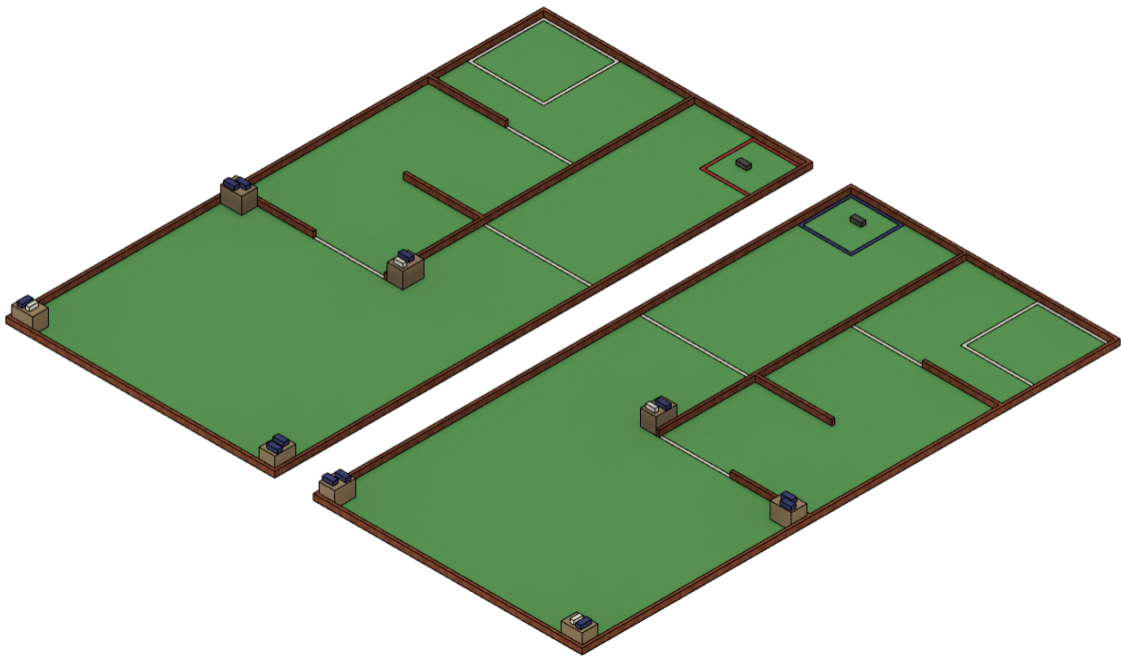
1. フィールド図面
 - 1.1 フィールド全体図面
 - 1.1.1 ゾーン・エリア説明



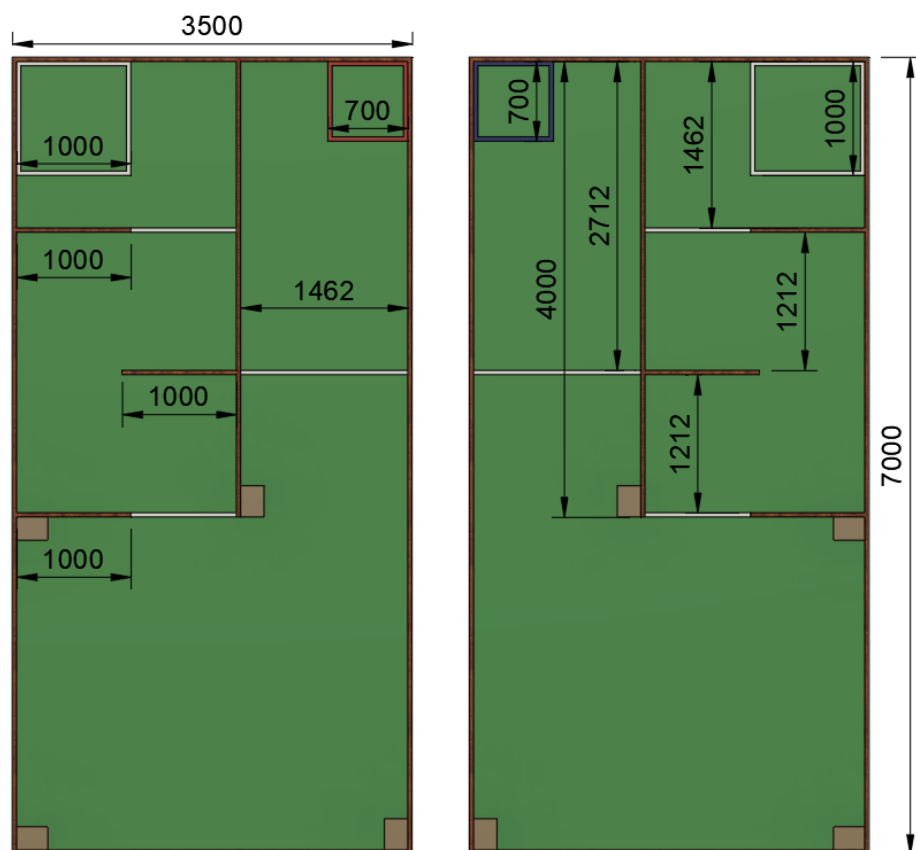
※ 上図の色分けは、エリア・ゾーンの説明のための便宜上の色分けであり、競技フィールドが実際に上図のように色分けされるわけではありません。実際の色は別途「競技フィールド/オブジェクト図面」を参照してください。

ゾーン名（仮称）	説明
スタートゾーン	試合開始時にロボットを配置するゾーンです。ロボットはスタートする際に、700mm×700mmの正方形に収める必要があります。
「カブトムシ」	「カブトムシ」は灰色のホワイトボードイレーザーです。 両面テープを用いて部品を接着します。接着方法はフィールド図を参照してください。
「クワガタ」	「クワガタ」は青色のホワイトボードイレーザーです。 両面テープを用いて部品を接着します。接着方法はフィールド図を参照してください。
「カナブン」	「カナブン」は発泡スチロールの直方体です。
「虫」	「カブトムシ」「クワガタ」「カナブン」の総称です。
「幹」	「幹」は段ボールです。フィールドに固定されており、「クワガタ」や「カナブン」をこの上に乗せてセッティングします。 「幹」の上面は、地面から204mmの位置にあります。
「展示ゾーン」	「虫」を置くゾーンです。
「通路エリア」	「通路エリア」はスラロームです。
「庭エリア」	「スタートゾーン」を含むエリアです。
「森エリア」	「幹」が置かれたエリアです。
「博物館エリア」	「展示ゾーン」を含むエリアです。 「博物館エリア」の一部の木枠の上には、タスクの達成状況を表示するためのLEDテープを乗せる可能性があります。
木枠	競技フィールドの周囲、および各エリア・ゾーンの境界の一部には、幅 38 mm、高さ 89 mm の木枠が配置されます。木材同士は金属製部品で固定するため、表面に突出部が生じることがあります。ロボットは自チーム側の木枠の側面には触れてもかまいませんが、木枠の上面、および競技フィールドの周囲の木枠の外側には触れてはいけません。

1.1.2 等角投影図



1.1.3 平面図



フィールド寸法

- ※ 図上で細い茶色で示された部分には、幅 38 mm、高さ 89 mm の木枠が配置されます。枠はあまり強く固定できないため、強い力をかけないようにしてください。
- ※ 白線の幅は全て38mmです。白線が交わる部分など、シートが重なる部分があります。

2. オブジェクト図

2.1 「虫」

2.1.1 「カブトムシ」



「カブトムシ」は、「ホワイトボードレーザー（品番：RA-11NDM）」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

2.1.2 「クワガタ」



「クワガタ」は、「ホワイトボードレーザー（品番：RA-11NB）」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

2.1.3 「カナブン」



「カナブン」は、「発泡スチロール（品番：46726）」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

2.2 「幹」



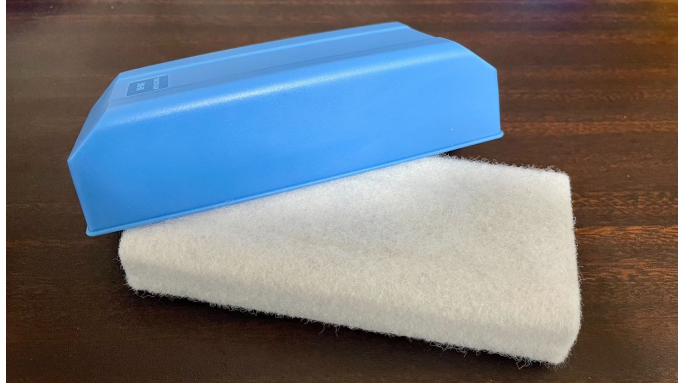
「幹」は、「ダンボール箱（品番：No.9）」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

3. オブジェクトの接着

3.1 「カブトムシ」「クワガタ」

下の画像では「クワガタ」を用いた説明になりますが、「カブトムシ」も同様の方法での接着になります。

- 1) ホワイトボード用イレーザを、プラスチックの部分「カバー」と、布地の部分「カートリッジ」に分解します。



- 2) カートリッジに両面テープ「激強力両面テープ マルチ（品番：WKG-008）」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を貼ります。
カバーによってできた筋に重なるように貼り付けてください。



- 3) 両面テープの剥離紙をはがし、カートリッジをカバーに戻して貼り付けます。

